

第6回 登別市中央地区まちづくり協議会 議事録

開催概要

日時 令和6年5月30日(木) 18:30~19:00

場所 市役所本庁舎2階 第2委員会室

出席者 別紙のとおり

1 開会

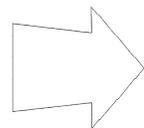
総務部本庁舎整備推進グループが進行

2 議事

(1) 「提言書(中間報告書)について」

発言者	質問事項等	事務局から
(委員 A)	<ul style="list-style-type: none">・提言書の内容について、跡地利用の話からそれているのではという意見があるなかで、今までの経緯を改めて説明した。アーニス为荣えなければまちの活性化にならないという再認識。・提言書の中でなぜ図書館という話題がでてきたのか見えてこない。高齢者は静かな場所という固定概念、若い世代は蔦屋やスターバックスをイメージする。このギャップが生じる。市民の文化レベルを上げる動きが、購買意欲に繋がるなかから図書館という話題がでてた認識であるため、このような経緯を具体的に記載してはどうか。・結論としては図書館の移設は反対ではない。	
(委員 B)	<ul style="list-style-type: none">・市民自治推進委員会での結論は図書館の移動は反対ではない。図書館のコンセプトや移転の方向性が決まった段階で再度市民自治推進委員会に情報提供していただき、	

	<p>意見を聞く場を設けて欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の移転がまちづくりを進めるうえで最も優先的な取組ではないことを市として認識していただきたい。 	
(委員 C)	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎移転に伴う空き店舗の課題で話を進めていたが、中央地区全体で考えようということになり、そこで図書館の話題がでたという認識。図書館の耐震問題の課題を聞いており、アーニスへの移転構想がでてきたときにはアーニスの問題なければいいのではないかという意見があった。 ・一方で跡地利用の課題について、市民団体との意見交換を行った経緯があり、宴会付きホテルという意見が多くあったが、難しいのであれば次へと一つずつ削りながら目的を達成していく必要がある。 ・結論、図書館の移転は反対ではない。 	
(会 長)	<ul style="list-style-type: none"> ・提言書の一部は具体的な経緯やコンセプトを含めて修正する 	



- ①提言書（中間報告）については、一部修正が必要だが、図書館本館をアーニスに移転することでまちの活性化に繋げる案を市へ提出することで決定とする。
- ②提言書の修正については、まちづくり協議会会長に一任し、最終修正案を委員に確認することとする。

(2) 「今後の進め方とスケジュールについて」

発言者	質問事項等	事務局から
(委員 A)	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールについては問題なし。 ・ホテルの建設が難しいということを前回聞いているため、別のことを考える一方、ホテル平安の再開なども検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局で耐震化補助の整理など進めながら来ていただくなどの検討は今後会長と協議させていただく。

	<p>する必要があるのではないか。再開できる可能性などの情報共有としてこの場で協議することもいいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人的な意見として、関係事業者に事前に打診をして、話せる内容等を整理していただいたうえで来ていただくという交渉は市として可能か。 	
(委員 B)	<ul style="list-style-type: none"> ・シンワの建物についての利活用などができないかという意見がでている。市としては難しいという回答もあるが。 	
(事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設については、本庁舎跡地に限らず検討という案も出たことから、それらの進め方も踏まえて今後会長と協議させていただく。 ・提言書に関しては、商業施設の活性化のための図書館の移転という形になると思うので、それを受けて施設を所管する教育委員会が責任を持って検討していくこととなる。 	

(3) 今後のスケジュールについて

3 閉会

19時00分 閉会